

<靈的備え>

私が呼ぶとき 答えてください。

私の義なる神。追い詰められたとき あなたは私を解き放ってくださいました。

私をあわれみ 私の祈りを聞いてください。 (詩篇 4：1)

<理解の手引き>

人の創造は神の創造のクライマックスといえます。ここで神は「人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう」(26) といわれました。

「われわれ」「造ろう」は、いずれも1人称複数で表現されています。しかし、27節の「ご自身の」「創造された」はいずれも3人称単数で表現されているので、この1人称複数で神が複数の存在であると言っているわけではありません。威厳、尊厳を表す複数、あるいは三位一体を暗示する位格の複数などが考えられます。

次に「神のかたち」とありますが、神は人の考え得るどのような姿かたちでも表現できません。人は被造物の1つであり、神とは全く異なる存在です。しかし、他の被造物とは違って、神のかたちに特別に造られたのです。この「神のかたち」は、人間を他の被造物から決定的に区別する要因といえます。この「神のかたち」とは、神と交わり、神の御声を聞き分け、自由意志で主体的に神の御心を行うことの出来る人格的な存在という意味です。

<考えてみよう>

(観察) 人間と他の動物との類似点と相違点は、それぞれ何でしょうか？

.....

.....

.....

(解釈) 神が人を「神のかたち」に似せて造られたのは、どんな目的や意味がありますか？

.....

.....

(適用) 私達は「神は人をご自身のかたちとして創造された」その目的をどうしたら果たせるでしょう。

.....

.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....

.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....